



特定非営利活動法人

医学統計研究会

Biostatistical Research Association

Newsletter No.7 (100)

2012.7.30

暑中お見舞い申し上げます。「節電」の呼応にも何とはなしに慣れた感じで、またロンドン・オリンピックにも距離感のせいか、不況からくる閉塞感のせいか、盛りあがり欠ける気がしていましたが、男女のサッカーの勝利で急に活気づいてきました。これからが夏本番です。気合を入れて明るく元気に参りましょう。会員の皆様のご健勝を祈念いたしております。

1 7月7日、七夕の日に夏季セミナー山梨2012「統計解析環境 R の進化と評価」が、平成24年度山梨大学グローバル COE シンポジウムを後援する形式で開催されました。プログラムは以下のとおりです[敬称略]。

日時：2012年7月7日(土)。9時50分～18時00分。

会場：山梨大学 情報メディア館多目的ホール。

開会挨拶：下川敏雄 閉会挨拶：後藤昌司

座長：下川敏雄・松原義弘

- 下川敏雄：統計解析 R でのグラフィクス：臨床評価過程における統計的グラフィクス
- 越智義道：R におけるデータ解析とその支援環境
- 坂本 亘：R と Fortran の連携による統計計算
- 安部文武：RExcel を用いた Excel アドインソフトの開発について
- 志賀 功・篠田明宏：ビッグデータ分析への取組みと R の適用についての模索
- 古賀 正：統計解析環境 R による薬物動態解析の基礎

当日に、山梨大学大学院前期課程の入院試験とも重なり、出席される方々が少なくなりましたが、世話人の下川敏雄先生のおかげで大変に充実したセミナー（シンポジウム）となりました。下川敏雄先生に心よりお礼を申し上げます。ありがとうございました。





—夏季セミナー山梨 2012 でのひとこま—

2 定例会[大阪]2012-7-21および定例研究会[東京]2012-7-21との共催で日本計算機統計学会スタディ・グループ「統計科学におけるシミュレーションの過程」[代表：伊藤雅憲]シンポジウム 2012 が下記の次第で開かれました[敬称略].

日時：2012年7月21日(土). 9時30分～13時00分.

会場：茨木市 クリエイト・センター [302 会議室].

開会挨拶：松原義弘 閉会挨拶：後藤昌司

座長：河合統介／藤澤正樹

- 吉川隆範：g 形状分布のデータ変換への適用に向けて
- 中村将俊：Simulation for Adaptive Phase II Trial Design
- 池田敏広：生物試験法でのデータの解析
- 尾崎寿昭：形状不変モデルの推定
- 丸尾和司：歪んだデータに基づくシミュレーション
- 伊藤雅憲：薬剤開発におけるマクロ・シミュレーション
- 五十川直樹：用量反応試験と検証試験に対する Bayes 流アプローチ
- 大江基貴：Smoothing receiver operating characteristic curve
- 池田公俊：用量反応試験におけるシミュレーション
- 高瀬貴夫：Prediction of Event Times in Clinical Trials
- 志賀 功：臨床評価システムについて
- 古賀 正：他の投与ルートの中薬物濃度予測
- 坂本 亘：情報量規準による混合効果モデルの選択

本年も短時間での発表・講演になりましたが、その内容の水準は一段と高くなった感じで啓発的でした。完成度の高い発表内容は、早い機会に論文として投稿していただくように期待しています。





—シンポジウム 2012 のひとこま—

3 平成 24 年度第 2 回理事会が開かれました。

日時：2012 年 7 月 21 日(土). 13 時 00 分～13 時 30 分.

会場：上記シンポジウムと同じ.

- 議事：
- 第 1 号議案：平成 24 年度事業の進捗
 - 第 2 号議案：「改正 NPO 法」対応
 - 第 3 号議案：常務理事・理事の「就任承諾書（平成 18 年度，平成 20 年度，平成 22 年度）」と役割分担
 - 第 4 号議案：会員動向[平成 24 年 6 月 30 日現在]
 - 第 5 号議案：今後の対応

とくに，定款の改訂に関わる常務理事・理事の方々の「代表権喪失」に伴う登記が必要で，これらの手続きを 9 月中旬までに完了（登記）することになります．常務理事・理事の方々にはご協力をよろしくお願いいたします．

4 サマー・フォーラム 2012 が 7 月 21 日(土)に開催されました．恒例の「ボウリング大会」の戦績は以下のとおりです[敬称略]．

| 個人の部 | | | | 団体の部 | | |
|------|-----|------|-------|-------|------|--------|
| 男性 | 優勝 | 竹中寿仁 | 518 点 | 優勝 | 池田公俊 | 1389 点 |
| | 準優勝 | 松原義弘 | 508 点 | 2 レーン | 尾崎寿昭 | |
| | 3 位 | 池田公俊 | 506 点 | | 大田美咲 | |

| | | | | | | |
|--------|-----|-------|-------|-------|-------|--------|
| 女性 | 優勝 | 大田美咲 | 497 点 | 準優勝 | 五十川直樹 | 1332 点 |
| | 準優勝 | 伊藤ゆり | 469 点 | 6 レーン | 池田敏広 | |
| | 3 位 | 亀山日名子 | 405 点 | | 竹中寿仁 | |
| 駒澤・福田賞 | | 亀山日名子 | 405 点 | 3 位 | 藤澤正樹 | 1311 点 |
| ブービ賞 | | 河合統介 | 343 点 | 3 レーン | 志賀 功 | |
| | | | | | 後藤昌司 | |

なお、上記以外でご参加された方々は以下のとおりです。

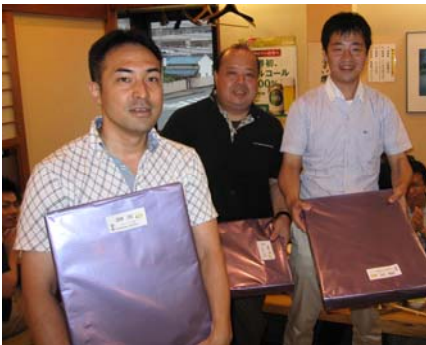
勸場 貢・坂本 亘・古賀 正・伊藤雅憲・山邊太陽・大江基貴・中村将俊・吉川隆範
(懇親会のみ：高瀬貴夫・大山秀輔・富金原 悟・林 篤裕・下川敏雄・後藤 孚)

さらに、懇親会[出席者 27 名]が「三府鮎(東一津屋店)」にて開催され、楽しい会話の輪がひろがりました。





—ボウリング大会でのひとこま—





—懇親会でのひとこま—

5

感謝

本ニュースレターも今月号で100号となりました。これも日常から支えていただいている会員の皆様のおかげであると事務局一同、心より感謝しております。100号を記念して、会員の有志の方々から励ましなどを含めてお便りを頂戴いたしました。ここに順不同（敬称略）で以下に列記いたします。いつもながらのご支援・ご協力ありがとうございます。

BRA って? 聞いただけでも 赤ら顔

研究会 魅力はかだいな 検討会

「第100号」あたりは若き ごとうかな

古賀 正

いつもニュースレターをご配信くださり、ありがとうございます。

いよいよ100号、おめでとうございます。

益々のご発展を祈念しております。統計については素人の私ですが、興味深く読ませて頂いております。

的打 裕安

次回で百号をお迎えになるとのこと、お喜び申し上げます。いろいろな時期を変わりなく続けて来られましたことが、私たちを大変勇気付けてくださいました。また、皆様のご活躍を嬉しく見させて頂いています。益々のご発展お祈り申し上げます。

的打 徳子

Newsletter 100号の発行、おめでとうございます！

私が後藤先生のオフィスでお世話になり始めた頃、研究よりも先にNewsletterの編集方法について、丸尾さんから指導を受けたことが昨日のことに思い出されます。振り返れば、Newsletterの編集が勤行の始まりだったのかもしれませんが。これからも毎月の発行を楽しみにしています。

五十川直樹

BRAニューズレターが100号を迎えましたことを、とても喜ばしく思います。この8年余りの間、定例会やフォーラムの開催、シンポジウムやセミナーでの講演などを通じて、医学統計学の様々な話題に触れ、企業の方々との交流を深める機会を得ることができました。また、白旗研究室の大学院生たちを「掃除・勤行・学問」のすべてにわたって懇切にご指導くださり、おかげで彼らを立派な社会人として送り出す

ことができました。後藤昌司先生ならびに奥様をはじめ、BRAの会員・事務局の皆様、あらためて感謝申し上げます。

今年度は、工学部環境・エネルギー工学科の1年生に対して統計学の授業を担当しています。地球温暖化、放射能汚染、再生エネルギーなどの山積する課題に対して、統計科学が果たすべき役割はますます大きくなっているはずですが、しかしながら、これらの課題に対する関心や理解が十分とは言えない学生達に統計科学の重要性を説くことに苦心しています。

しかも、微積分に習熟していない彼らに確率分布の基礎を教え込むことは容易ではありません（例えば正規分布をきちんと定義するには広義積分や重積分の知識が必要です）。最近、様々な場面での「不一致」（ミスマッチ）が気になっています。世間においても、政治と国民、学校・教育委員会と生徒たち、など様々な不一致が見られます。大学の中でも、教育内容と学生の関心・レベルとの不一致、企業の求人と学生の就職希望との不一致などが問題になっています（海老原他「危ない大学」洋泉社）。そして、統計教育もまた然りではないかという気がしています。大学での統計学のカリキュラムは、学生の関心やレベルとの間に乖離があるのではないかと、またその結果、企業や社会が求める技能に合致していないのではないかと、と感ずることがあります。

私にできることは、統計の研究や教育での不一致を少しでも解消していくための活動であると思います。が、個人の力だけでは限界があり、また大学という組織の中ではどうしても制約があります。BRAの財産である人とのつながりを大いに利用させていただき、そのような活動に少しでも貢献できればと考えています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

坂本 亘

海老原 嗣生：危ない大学。海泉社、2012。

いつもGoodタイミングでご配信いただき、楽しく読ませていただいております。近頃、ビッグデータという言葉をよく聞くようになりましたが、統計の活躍の場が広がる可能性にあるのは良いことです。問題になっているのは、データサイエンティストの人材不足とか、数理・統計・データ解析・マイニング・分散コンピューティング・可視化・現場など全部わかるスーパーマンなどいる訳もなく当然なのですが、いずれにしても急ぐと事を仕損じます。こちらは情報系ですが、医学統計学で培われた知恵は、このような方面にも必要かと思えます。さて、前置きが少し長くなりましたが（笑）、100号記念、大変におめでとうございます！これからの医学統計研究会の益々の発展を祈念しております。

杉本 知之

定例研究会について：Newsletter 第100号の発行おめでとうございます。Newsletter 第100号記念にちなんで、定例研究会の100回はいつになるかと考えてみますと、2013年8月が100回目となります。

2005年2月16日に記念すべき第1回定例研究会（東京）を開催いたしました。場所は、ファイザー（株）でした。故 駒澤 勉先生と品川プリンスホテルでボウリングを楽しんでいたころに比べると、遊学の「学」の部分を重視しています。ファイザー（株）に向かうまでの地下街を通るたびに、駒澤先生の後ろ姿を思い出します。初年度は、全11回の開催となりました。それ以降の年度は、皆様のご協力のお蔭をもちまして12回の開催を維持しております。まずは、100回をめざして継続していきたいと思っておりますので、ご支援・ご協力をお願いいたします。100回目は、初心に戻り「遊」の部分にも力をいれたいと思っております。

藤澤 正樹

ニューズレター発行 100 号に際して

医学統計研究会のニューズレターを一つ一つ振り返って見返しますと、定例会（大阪）や大分統計談話会での発表、お酒の席での思い出など医学統計研究会での活動の日々が走馬灯のように蘇ります。学生時代の大半の日々を医学統計研究会で過ごしたことを実感します。150号、200号とニューズレターを振り返ったときに、自分の成長を感じられるよう、今後も後藤昌司先生を初め多くの方々支えの下で日々精進していく所存です。今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。 大山 秀輔

ニューズレター100号達成おめでとうございます。私が初めてニューズレターの編集をお手伝いしたのが73号で、その頃は軽率な判断による失敗で後藤昌司先生に叱られながら勤行したのをよく覚えています（今でもあまり変わらないかもしれませんが）。これからも掃除・勤行・学問の教えのもとに、BRAの中で成長していけたらと思います。今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。 吉川 隆範

編集後記①：「医学統計研究会」が特別非営利活動法人として認証されたのは、2004年10月4日、そして登記されたのは、



2004年10月13日で、これが「設立記念日」となる。実際には、オフィスは2004年4月1日に開設され、Newsletter1号が4月21日に刊行され、それ以降、毎月の発行で現在に至り、今月で100号を迎えた。確かに「継続は力なり」で医学統計研究会も順調に成長の途を歩んでおり、会員の方々との喜びを分かちあいたい。古くからの教えにあるように

本ものは続く 続けるると本ものになる

を信じて、多くの仲間の方々と一歩を確実に進めたい。

名和田 潜

編集後記②：100号記念のお祝いメッセージを5に掲載しました。そのため、今後の予定[計画事項]の記載を省略しましたが、今後の予定をホームページ[平成23年度会報『医学統計研究会の現況：vol.7』]に記載していますので、ご参照、よろしく申し上げます。とくに、「秋季セミナー鹿児島2012」（9月1日(土)）が目前に迫っています。多くの方々のご参加を申し上げます。現在、詳細プログラムを作成中です。ご発表予定の方々には組織者の方へご連絡を申し上げます[敬称略]。

組織者：米山昭成・勘場 貢・梅田佳史・藤崎恒晏

連絡先(梅田佳史)：

(株)新日本科学 〒891-1394 鹿児島市宮之浦町 2438

TEL：099-293-7407 FAX：099-293-7408

E-Mail：umeda-yoshifumi@snbl.co.jp

Newsletter 編集：

後藤昌司・栗林和彦・坂本 亘・富金原 悟・河合統介・藤澤正樹・杉本知之・大門貴志・伊藤雅憲

連絡先：医学統計研究会 事務局 [亀山 日名子・後藤 孚・山口祐介・吉川隆範]

〒560-0085 豊中市上新田2丁目22-10-A411号

Tel & Fax：06-6835-8790 / e-mail：bra_goto@ybb.ne.jp / URL：<http://www.bra.or.jp>

本ニューズレターの転載は全文・部分を問わず禁止させていただきます。